

第1学年 音楽科学習指導案

- 1 題材 ばめんのようすをおもいうかべながらうたおう
 2 教材 「きらきらぼし」 武鹿 悦子 作詞・フランス民謡
 3 指導に当たっての考え方

| 教材分析 | | |
|---|--|---|
| <p>楽曲「きらきらぼし」は、シンプルな楽曲構成であり、入学前から歌ったり演奏したりするなど、児童にとって親しみやすい曲である。</p> <p>特徴的な要素は以下の通りである。</p> <p>歌詞：1番では、まばたきしながらみんなをみてる様子と、2番では、星に歌を届けたいという子ども達の願いを表している。</p> <p>旋律：第1、第3フレーズは山型の旋律、第2フレーズは反復する下降型の順次進行の旋律。</p> | <p>リズム：四分音符が7つの同型反復のリズム。</p>  | <p>以上のような教材であるので、歌詞の表す様子を思い浮かべて、工夫して表現することができると思う。</p> |
| 児童の実態 | | |
| <p>○ 楽曲の気分を感じながら、表情豊かに歌ってはいるが、歌詞の表す情景や気持ちを想像して歌うまでにはいたっていない。</p> <p>○ 場面の様子を思いうかべて、身体表現することはできているが、その様子が伝わるような歌い方はできていない。</p> <p>○ 自分の声を精一杯出して積極的に歌おうとしているが、自分の歌声に注意しながら歌うまでにはいたっていない。手拍子でリズムを打つ経験はあるが、楽器を使ったことはない。</p> | | |
| 聴く活動を中心とした主な支援 | 自分の思い | 指導内容 |
| <p>楽曲の気分や特徴を聴く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歌詞に沿ったお話の絵を提示していく ◎ 教師の範唱による聴き比べ ◎ 次時表現への思いをもたせるための聴き比べ | <p style="text-align: center;">つかむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お星様みたいにきれいな歌だね。 ・星によびかけるような、やさしい声で歌えたらいいな。 | <p>夜空にきらきら輝く星が広がっている様子を思いうかべながら、星によびかけるような歌声で歌うことや次時表現への思いをもつこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 夜空にきらきら輝く星がどこまでも広がっている様子を思いうかべること ○ 音程、発音に気をつけて、正しく歌うこと ○ 歌詞に着目して、星によびかけるように歌うこと ○ 星の音（トライアングル）が入って楽曲の気分の高まりを感じる |
| <p>思いに沿った歌い方を工夫するための聴く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 星の音を楽器で加えた歌の聴き比べ | <p style="text-align: center;">深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きらきら輝く星の音を楽器で見つけたいな。 ・どんな音が歌にあうかな。 | <p>歌詞の表す情景を思いうかべ、星空の様子や思いを歌や楽器で表現することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ トライアングル、鈴、などの楽器から星の音を探すこと ○ 歌に合う星の音を、楽器を使って正しい奏法で練習すること |
| <p>思いを込めた表現を味わい、音楽のよさを感じ取るための聴く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 歌の中に、星の音を入れて聴き比べること | <p style="text-align: center;">味わう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌の中に星の音を入れたり、素敵な「きらきらぼし」になったよ。 | <p>歌詞の表す情景を思いうかべ、星空の様子や思いを歌や楽器で表現することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歌の中で星の音を入れて、グループごとに聴くこと |
| 題材目標 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽曲の気分を感じ取って、夜空の星の様子を想像しながら、歌おうとしている。（関心・意欲・態度） ○ 場面の様子を思いうかべながら、その様子がわかるように歌い方を工夫することができる。（感受・表現の工夫） ○ 自分の歌声及び発音に気を付けて歌ったり、正しい奏法でトライアングルと鈴などを使い、音の出し方を工夫したりすることができる。（表現の技能） | | |

4 指導計画(2時間)

| | つかむ① (本時) | 深める・味わう① |
|---|---|---|
| ね ら い | 夜空にきらきら輝く星が広がっている様子を思いうかべながら、星によびかけるような歌声で歌うことや次時表現への思いをもつことができる。 | 歌詞の表す情景を思いうかべ、星空の様子や思いを歌や楽器で表現することができる。 |
| 指 導 内 容 | ○斉唱で正しく歌うこと ○夜空の星がきらきら輝いている様子を感じとって歌うこと ◎次時表現への思いをもつこと | ○楽器を使って、歌に合う音の出し方を工夫すること ◎場面の様子を思いうかべながら歌うこと |
| 主 な 学 習 活 動 と 内 容 | <p>1 楽曲「きらきらぼし」を歌い、本時学習のめあてについて話し合う。</p> <p>(1) 「星のお話」を聴きながら情景画を見る。 ○ 夜空にきらきら輝く星がどこまでも広がっている様子を思いうかべることができること</p> <p style="text-align: right;">【聴く活動①】</p> <p>(2) 本時学習のめあてについて話し合う。 ○ 「星のお話」の内容を確かめること ○ 範唱CDに合わせて歌うこと</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">おほしさまによびかけるようにうたおう。</div> <p>2 歌詞に込められた様子を思いうかべながら歌う。</p> <p>(1) 歌詞や旋律を正しく歌う。 ○ 音程、発音に気をつけて、正しく歌うこと ○ 1番と2番の歌詞の違いに気付くこと</p> <p>(2) 星によびかけるような歌い方の工夫を考えながら歌うこと。 ○ 歌詞に着目して、星によびかけるように歌うこと ○ グループに分かれて歌うこと</p> <p>3 本時学習のまとめとして歌い、次時学習への思いをもつ。</p> <p>(1) まとめとして歌い、本時学習をふり返る。 ○ 星によびかけるような歌声で歌いたいという思いを斉唱で歌うこと ○ 星の音(トライアングル)が入って楽曲の気分の高まりを感じること</p> <p style="text-align: right;">【聴く活動②】</p> <p>○ 今日のめあてをふり返ること</p> <p>(2) 次時学習について知る。 ○ 次時学習では星の音を楽器に入れて、もっとすてきな「きらきらぼし」を歌うこと</p> | <p>1 前時学習を振り返りながら、本時学習のめあてをつかむ。</p> <p>(1) 「きらきらぼし」を斉唱で歌う。 ○ 場面の様子を思いうかべながら歌うこと</p> <p>(2) 本時学習のめあてについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">ほしのおとをいれて、もっとすてきな「きらきらぼし」にしよう。</div> <p>2 星がまばたきしたり輝いたりする様子を思いうかべ、星の音を工夫する。</p> <p>(1) 前奏や間奏に星の音を入れて表現する。 ○ トライアングル、鈴、などの楽器から星の音を探すこと</p> <p style="text-align: right;">【聴く活動③】</p> <p>(2) 選んだ楽器で歌に合うリズムを工夫する。 ○ 歌に合う星の音を、楽器を使って工夫すること</p> <p>3 星の音を入れて「きらきらぼし」を歌い、本題材をまとめる。</p> <p>(1) まとめとして星の音を入れて歌う。 ○ 歌声や楽器の音の出し方を工夫すること</p> <p style="text-align: right;">【聴く活動④】</p> <p>(2) 本題材の学習を振り返り、まとめる。 ○ 夜空の星の様子を思いうかべながら、お星様のようにきれいな声で、きれいな音を入れて歌えるようになったこと、そのよさを感じ取ること</p> |

5 本時 つかむ段階（1 / 2）

6 本時の目標

歌詞の場面の様子を思いうかべながら、星によびかけるように歌うことができる。

7 準備 教師：範唱CD、縦書き歌詞、情景画
児童：椅子

8 本時指導の考え方

本時は、夜空にきらきら輝く星が広がっている様子を思いうかべながら、星によびかけるような歌声で歌うことが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手だてをとりながら学習を進めていく。

- まず、楽曲に出会う場面で、情景画を使って、星のお話をするにより、夜空にきらきら輝く星を思いうかべさせる。その時、オルゴールバージョンの「きらきらぼし」を流す。そして、お話の中で教師による範唱を入れる。【聴く活動①】次に、黒板に拡大歌詞を掲示し、範唱CDに合わせて1回歌わせる。さらに、星のお話の内容を確認してから本時学習のめあてについて話し合わせる。

【聴く活動①】について

| ねらい | 手だて | 期待する子どもの様子 |
|-----------------|---|--|
| 楽曲の気分や曲想をつかませる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「きらきらぼし」のオルゴールバージョンをお話しの中で流すことで、楽曲の気分ひたらせる。 ・歌詞に沿ったお話しを、情景画を提示しながら聴かせることで曲想をつかませる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>星のお話</p> <p>あるところに、まいちゃんという1年生の女の子がいました。夜になったので、まいちゃんは寝る用意をして、ベッドに入りました。いっぱい遊んだので、まいちゃんは、すぐに寝てしまいました。そのころ、お外にはきらきら光るお星様が、1つ、また1つでてきています。お星様は、まいちゃんやみんなの様子を遠くの夜空から見守っています。</p> <p>まいちゃんは、夢を見ました。夢の中で、まいちゃんは、きらきらするお星様に願い事をしていました。まいちゃんの願い事は、「大きくなったらケーキ屋さんで働きたいな」という願い事でした。願い事をお星様に伝えると、お星様がきらきらと光っていました。</p> <p>「きらきらぼし」の範唱（1番）</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・体を揺らして聴いている。 ・きれいな歌だな。 ・やさしい感じの歌だな。 |

- 次に、歌いにくいところ、音程がとりにくいところなどを取り出して歌わせる。その時、歌詞の意味と表す情景について詳しくみていく。1番では、星がみんなを見ている様子、2番では、みんなが星に向かって歌っている様子の違いを確かめ歌っていく。そして、星によびかけるような歌声にするには、どのような歌い方をしたらいいかを話し合い、試しに歌わせる。ここで、音程や歌声、口形、子音の発音に気を付けさせる。
- さらに、星によびかけるような歌い方をしているか2つのグループに分けて、みんなが歌う「きらきらぼし」を聴く。そして、星によびかけるように歌えているか確認する。
- 最後に、星によびかけるような歌声で歌うことが表現できたかどうか確かめるために、今日のまとめとしての歌を1回歌う。次時の学習につなげるため、もう一度歌わせ、その時2番の歌詞の「みんなのうたがとどくといいな」の部分にトライアングルのリズムを加える。【聴く活動②】

【聴く活動②】について

| ねらい | 手だて | 期待する子どもの様子 |
|--------------------------------|--|---|
| 楽曲の気分の高まりを感じさせる。次時学習への思いをもたせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・範唱CD ・まとめの歌を歌わせ、歌詞の2番「みんなのうたがとどくといいな」の部分にトライアングルのリズムを加える。 ・トライアングルは、児童の目に触れないようにして、音を入れる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・星の音が歌に入るともっとキラキラしていいな。 ・星の音をみつきたいな。 |

次時学習では、歌の中に星の音を楽器で表現し、もっとすてきな「きらきらぼし」を歌ったり、演奏したりすることを確認させる。

9 展開

| 学習活動と内容 (○) | 主な支援・学習活動における評価規準(※) |
|---|---|
| <p>1 楽曲「きらきらぼし」を歌い、本時学習のめあてについて話し合う。</p> <p>(1) 「星のお話」を情景画を見ながら聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 夜空にきらきら輝く星がどこまでも広がっている様子を思いうかべること <p style="text-align: right;">【聴く活動①】</p> <p>(2) 本時学習のめあてについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「星のお話」の内容を確かめること ○ 範唱CDに合わせて歌うこと <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>おほしさまによびかけるようにうたおう。</p> </div> <p>2 歌詞にこめられた様子を思いうかべながら歌う。</p> <p>(1) 歌詞や旋律を正しく歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 音程、発音に気をつけて、正しく歌うこと ○ 1番と2番の歌詞の同じ所や違う所に気付くこと <p>(2) 星によびかけるような歌い方の工夫を考えながら歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歌詞に着目して、星によびかけるようやさしく歌うこと ○ グループに分かれて歌うこと <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> </div> <p>3 本時学習のまとめとして歌い、次時学習への思いをもつ。</p> <p>(1) まとめとして歌い、本時学習をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 星によびかけるような歌声で歌いたいという思いを斉唱で歌うこと。 ○ 星の音(トライアングル)が入って楽曲の気分の高まりを感じることに <p style="text-align: right;">【聴く活動②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今日めあてをふり返ること <p>(2) 次時学習について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次時学習では、歌の中に星の音を楽器で入れて、もっとすてきな「きらきらぼし」の歌にすることを確認すること | <p>・ 夜空の星の様子を思い浮かべやすいようにするために、星のお話を聴かせながら黒板に情景画を掲示していく。</p> <p>・ オルゴールバージョンのきらきらぼしをバックに流しながら星のお話をする。</p> <p>・ 歌詞に込められた思いを想像しやすいように縦書き歌詞を掲示する。</p> <p>・ 自動伴奏オルガンで音をとったり、教師と一緒に歌ったりしながら範唱CDに合わせて歌う。</p> <p>・ 発音や音程がとれていないところは、その部分を取り出して何度か練習する。</p> <p>・ 音程について、ハンドサインや身振りでも確かめるようにする。</p> <p>・ 星によびかけるような歌声とはどのような歌い方をすればいいか、もう一度確認させてから歌わせる。中間部に、次時の楽器につなげるために、トライアングルを入れる。</p> <p>※ 夜空の星がきらきら輝いている様子を感じ取っている。</p> <p>・ どういう楽器を入れたら星の音が表せるか話し合わせ、次時学習の課題をより具体的にしておく。</p> |